

◆臨時医療施設を設置し、命を守れ!



日本共産党国会議員団千葉事務所 043-302-2005
<市議団控室047-436-3030 FAX047-420-7201>
市会議員
岩井友子 438-8647 坂井洋介 404-2039
金沢和子 422-5278 松崎さち 432-9317
神子そよ子 769-7271

9月議会が始まりました

8月30日から10月5日までの37日間の日程で、令和3年(2021年)第3回定例会が開会しています。
今定例会には、市長から議案9件の議案では、新型コロナウイルス感染者の急

激な増加にあわせて、PCR検査数と患者の入院費用を増額します。また、高齢者施設や障害者施設の従事者を対象として現在行っているPCR検査を、12月まで継続します。
日本共産党からは、①土地利用規制の廃止を求める意見書、②新型コロナウイルス感染症の入院制限の撤廃、③社会的検査の抜本的な拡充、④ワクチンの安全・迅速な接種、⑤自粛要請に見合った十分な補償と生活支援などを求める意見書、⑥他の党派や無所属の議員と共同で、選択的夫婦別姓制度の導入に向けた国会審議の推進を求める意見書、の合計6本の意見書を提案しました。

Table with columns: 月日(曜), 時刻, 会議別, 主な議事等. Contains meeting schedule from 8/30 to 10/5.

新型コロナウイルス感染症から、市民の命と暮らし、生業を守れる施策の実現が急務です。市民の皆さんから寄せられた不安の声にこたえるため、全力をつくします。

市長へ緊急要請

急増する感染者に対応する

医療・検査・ワクチンを

8月19日、日本共産党市議団は松戸徹市長に新型コロナウイルス感染症対策についての緊急の申し入れを行いました。

新型コロナウイルス感染拡大の第5波が猛威をふるっています。市内でも感染者が1日に200人を超える日もあり、クラスターも相次いで発生するなど収まる見通しがありません。

市民からは「感染し自宅療養が続いているが」「濃厚接触の家族でもPCR検査が受けられない」「ワクチン接種の予約ができない」「このまま9月に学校が再開しても大丈夫なのか」などの声が寄せられています。

1、感染者が安心して療養できるように、船橋アリーナなどを活用した仮設病床を設置し医療を受けられるようにすること。そのために厚生労働省や千葉県と連携すること。



新型コロナ感染症対策についての要望書を市長に提出

市民からは「感染し自宅療養が続いているが」「濃厚接触の家族でもPCR検査が受けられない」「ワクチン接種の予約ができない」「このまま9月に学校が再開しても大丈夫なのか」などの声が寄せられています。医療機関もコロナ病棟がいっぱいになり、発熱外来の予約もいっぱい状態です。こうした医療ひっ迫の状況がありながら、市中での人出は変わらず、市民に緊迫した感染状況が伝わって

2、ワクチン接種を迅速に行う体制を整えること。緊急に集団接種を再開すること。教職員や幼稚園教諭、保育士などへのワクチン接種を優先して実施すること。

3、感染者の早期発見と感染防止のため、抗原検査キットを希望する市民に無料配布し検査